

富岡ロータリークラブ

事務局	〒970-8044 いわき市中央台飯野四丁目2-4 いわきNTセンタービル3F-B 坂建工業(株)内		
TEL	0246 (88) 1871	FAX	0246 (88) 1872
Eメール	d2530tomioka@lily.ocn.ne.jp		
HP			

創立

創立年月日 1970年5月21日

RI・ID 13745

RI認証年月日 1970年5月29日

認証状伝達年月日 1970年6月7日

創立時ガバナー 穴沢 養一

スポンサークラブ いわき平ロータリークラブ

特別代表 飯島 隆俊

チャーターメンバー 創立時21人 現在1人

初代会長 大原 久弥 初代幹事 石川 昭久

年間出席率 最高出席率 / 100.00% (2019～2020年)

クラブ累計 ロータリー財団 134,109ドル (2020年6月30日現在)

寄付額 米山記念奨学会 14,642,000円 (2020年6月30日現在)

例会

日時 水曜日 12時00分～13時30分

場所 Jヴィレッジ(檜葉)
〒979-0513
双葉郡檜葉町山田岡美シ森8番
TEL/0240(26)0111 FAX/0240(26)0112
HP/https://j-village.jp

現況

正会員 39人

内女性 4人

平均年齢 60.3歳



バナーの由来

私たちのテリトリーは東に太平洋、西に阿武隈山地を望む自然豊かな地域に4町村で構成されており、富岡町の桜・川内村のモリアオガエル・檜葉町のユズ・広野町のミカン、各町村のシンボルとして愛され親しまれています。

日本地図に国際ロータリー第2530地区及び当クラブの位置を配し、背景の色彩の緑は阿武隈山系を、ブルーは太平洋を表し奉仕の理念で結ばれた世界中のロータリアンの繋がりをイメージし、当クラブ創立50周年を記念してデザインしました。

歴代会長

70～71	大原 久弥	83～84	藤田 勝夫	96～97	鈴木多喜男	09～10	鈴木 正範
71～72	大原 久弥	84～85	隠岐 良治	97～98	渡辺 秀光	10～11	田中美奈子
72～73	大原 甫	85～86	坂本 元吉	98～99	藤田 勝夫	11～12	宮嶋 清憲
73～74	豊田 正敏	86～87	藤田 吉伴	99～00	藤田 勝夫	12～13	大和田 剛
74～75	中津 光夫	87～88	大原 弘道	00～01	井上 篤	13～14	渡邊 正義
75～76	飯土井 泰	88～89	坂本伊右衛門	01～02	押田 育夫	14～15	渡邊 正義
76～77	松本伝一郎	89～90	石原 政博	02～03	大和田 剛	15～16	永山 剛清
77～78	石川 昭久	90～91	早川 壽宏	03～04	鈴木 正範	16～17	坂本 勝利
78～79	佐藤 徹	91～92	名嘉 幸照	04～05	山本 明吉	17～18	坂本 栄司
79～80	平山 源造	92～93	大竹 庄七	05～06	坂本 邦仁	18～19	柳澤 幸治
80～81	菊地 俊成	93～94	井上 篤	06～07	赤井 博道	19～20	坂本 栄司
81～82	猪狩 広安	94～95	関本 甫征	07～08	磯村 福治		
82～83	斎藤 盛哉	95～96	仲山 陽一	08～09	柳澤 幸治		

ロータリー財団(寄付者)

2020年7月31日現在

ポールハリスフェロー 14人

マルチプルフェロー 0人

バネファクター 0人

姉妹クラブ(締結年月日)

友好クラブ 杉戸ロータリークラブ

(2019年4月6日)

米山記念奨学会

2020年7月31日現在

米山功労クラブ 8回 米山功労者 12名

クラブ出版物(会報を除く)

- 2010.9.30 創立40周年記念誌「40年の歩み」
- 2012.6 東日本大震災及び東京電力(株)原発事故体験記

地区役員・委員長の輩出

地区役員

15～16

地区幹事

赤井 博道
山本 明吉



杉戸RCと友好クラブ締結式 2019年4月6日



2014年4月24日 川内村小学校図書寄贈
(川内・富岡・楢葉・広野へ図書寄贈)



岩国40周年記念式典出席 2014年5月24日



米山委員長・米山記念奨学生(ブシバさん)
2017年8月7日 七夕



猪苗代湖水草回収活動 2018年10月13日

クラブメッセージ

富岡ロータリークラブは昭和45年5月21日に創立し令和2年5月に創立50周年の節目を迎えましたが、予定していた記念式典は新型コロナウイルスの流行により次年度に縮小開催することとなりました。当クラブの会員数は6月末日現在36名で、ここ数年は数の上では大きな変化なく推移しておりますが、東日本大震災と原発事故の影響は大きく、メンバーの入れ替えは相当数になります。逆に言うとそれだけ新入会員が増えているともいえるのですが。例会は震災後月1回の開催が精一杯だったのですが2016-17年度から月2回の開催とし、2017-18年度からは地元双葉郡での開催が行われるようになりました。現在は例会の多くを地元で開催するまでになっております。震災から10年が経過しようとしている現在、地元双葉郡もかなり復興してきております。新たな企業の進出も予見されます。この進出企業に入会を呼びかけクラブの活性化に努めて参ります。

(坂本 栄司)